

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

城西 大学 西川 由比子 ゼミ 西川ゼミパート

13

部門番号

部門名 社会保障論

テーマ 高齢者のQOL(生活の質)を考える

サブテーマ 高齢者の経済生活と高齢者のQOLをどのように考えるか？

趣意文

2014年における日本の高齢化率（人口に占める65歳以上人口比率）は26.0%に達している。高齢人口の居住形態の推移を見てみると、単独世帯が継続的増加、夫婦のみの世帯が継続的増加、親と未婚の子供のみの世帯が継続的増加しており、いずれも2006年～2015年の間におよそ1.5倍に増加している。一方で三世帯世帯の数は年々減少している。すなわち、高齢者世帯を支援する家族との同居率は減少傾向にある。

高齢者支援といっても、高齢者のおかれている状況—経済状況、健康状態（介護などの必要度）、地域—によって異なっている。したがって、支援の在り方も高齢者の状況あるいは地域特性により異なっていると考えられる。こうした状況を考慮しながら、高齢者にとってのQOLの充実を図れるような政策、サービスの在り方を検討したい。高齢者の日常生活を支えるサービスおよび食生活に関する支援も合わせて考えることとする。

以上の問題点について以下の章構成で検証することとする。

はじめに

第1章 高齢社会の進行（世帯構造の変化）
世帯構造の変化と支援のシステム

第2章 高齢者の経済格差
高齢者の主な収入源および貯蓄の状況

第3章 高齢者の生活支援の現状と課題（食生活も含む）

第4章 高齢者の生活支援事例としての給食サービス

第5章 自治体における高齢者支援 政府政策と自治体における事例
青森、山形、埼玉の事例

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

神奈川 大学 玉井義浩 ゼミ A パート

13

部門番号

部門名 社会保障論

テーマ 待機児童問題

サブテーマ 問題の社会的経済的要因と、解決に向けた提言

趣意文

待機児童問題はこれまで喫緊の問題として取り上げられながら全面解決に至っていない。子供の数が減っているにもかかわらず待機児童問題が解決しない要因として、共働き世帯の増加がある。しかし、より根本的な要因としては、「女性が輝く社会」を標榜している政権与党の中に女性蔑視発言を繰り返す議員が後を絶たない事実が示している通り、政治の担い手の側の、「共働き世帯の増加」特に、女性の社会進出そのものを許容しない、旧態依然とした「性別分業意識」「伝統的家族観」があるように思われる。更に、男性の育児休業取得が進まないことに集約されているように、社会全体の無理解や、協 調の失敗（負の外部性）も問題の解決を困難にしている。

近年の OECD 加盟国についてのクロスセクション分析は、OECD 加盟国については、女性の労働力率が日本より高い国の方が、むしろ出生率も高いという統計的事実を示している。つまり、今や「伝統的家族観」が「出産か仕事か」の二者択一を女性に迫ることが、寧ろ出生率に悪影響を及ぼしていることが浮き彫りになっている。したがって、待機児童問題の放置は、女性の幸福追求権の侵害であるだけでなく、出生率の低下につながりかねない問題でもある。我々の研究ではこうした問題意識のもと、様々な自治体における問題への取り組み事例を調査しつつ、待機児童問題の解決のための法的、経済学的なアプローチを論じる。

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

専修大学 大学 中野英夫 ゼミ A パート

13

部門番号

部門名

社会保障論

テーマ

社会保障制度の財源

サブテーマ

教育の無償化の考察

趣意文

現在 2018 年度以降の予算編成で教育の無償化が争点として浮上している。これは就学前教育や保育を社会保障費の引き上げや保険料の徴収、国債の発行を通じて無償化するものである。この政策は子育て費用の軽減による出生率の増加の効果を持つ反面、家計の税や保険料の負担を増加させる負の側面も併せ持つためその効果の程は明らかになっていない。本研究では教育の無償化のいくつかの手段に焦点を当て、それが持つ利点と欠点の分析を通じてその是非を考察するものである。

討論したいポイントについて今回の研究では教育無償化の方法について 3 つの財源案に焦点を置いている。そして、それらの財源案を分析したうえで、我々はこの 3 つの案の中でどの案が望ましいのかを決定する。取り上げる財源案は、①教育無償化の財源を社会保険料で賄う「こども保険」②大学などの高等教育の無償化に必要な財源を国債発行で賄う「教育国債」③税率 10%への増税時に税収の一部を活用し消費税増税分を充当するという 3 つである。

今後の研究における活動計画としては 3 つの財源案のそれぞれの長所・短所を分析し、どの案が一番教育無償化における財源として適しているかを定める。そこで、教育問題を解決するために日本がすべきことを討論したいと考えている。

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

専修 大学 中野英夫 ゼミ 中野英夫ゼミ B パート

13

部門番号

部門名

社会保障論

テーマ 今後の日本の年金制度のあり方について

サブテーマ 将来年金制度が保たれるためにはどうすべきか

趣意文

今回、我々がテーマとして挙げたのは今後の日本の年金制度のあり方についてである。いくつかある社会保障制度の中でも年金制度をテーマにした理由は、我々の中でも年金を納め始めている人もいる中で、将来的にはすべての人が被保険者や保険者となりとても身近にあるものであることから様々な観点から年金制度の問題点や、その解決策を考察することが有益であると考えからである。現状の年金制度のままで、この先も安定した年金制度を維持することが出来るのかということを研究テーマとして討論を進めていきたいと考えている。

討論の流れとしては、特に重要だと感じた問題に焦点を置き、それらの問題を分析した上で、今の年金制度が維持されるべきなのか、それとも改革を行うべきなのかについて議論していきたい。テーマとしては、①賦課方式を続けていくべきか②財源確保の問題③未納者増加の問題などがある。また、日本の年金制度は、公的保障部分を縮小して自助努力を中心に実施すべきであるという声を耳にする。この点についても、現在の年金制度と比較することが必要であり、その他問題についても理解を深めるため議論する必要があると考えている。また改革を行うべきであるという結論を下した場合、具体的にどのような改革をすべきであるかについても議論を深めたいと考えている。

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

中央 大学 宮本 ゼミ B パート

13

部門番号

部門名

社会保障論

テーマ

医療保険制度について

サブテーマ

医療保険制度の国際比較

趣意文

日本は最長寿国の一つとして、世界レベルでも注目を集めている。その背景には乳児死亡率の低下や食生活の改善だけでなく、とりわけ国民皆保険体制の確立以降に見られる医療保障の発展がある。もっとも近年では財政問題に対応するために医療保険制度の在り方の再検討が進められており、さまざまな改革が計画・実施されている。

私たちは、医療保険制度の現状と課題について考察を深めるべく、下記のような諸項目について研究を進めている。こうした諸項目を中心に議論を進め、さらに考察を深めていきたい。

- ・日本の医療保険制度の現状
- ・医療保険財政の在り方
- ・所得格差がもたらす医療格差
- ・国民皆保険体制の実態
- ・イギリス国民保険体制の実態
- ・アメリカ医療保険の現状と課題

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

中央 大学 御船洋 ゼミ 高齢化 パート

13

部門番号

部門名

社会保障論

テーマ 超高齢社会における介護の現状と課題

サブテーマ 人手不足社会の中での打開策について

趣意文

現在の日本は平均寿命の伸びにより、超高齢社会を迎えている。現代社会に数多く存在する問題の中から、私達のグループは「介護が抱える問題」に強く興味を持ち、高齢者が過ごしやすい環境づくりのための問題の解決策を考えることを今回の研究のテーマとした。今回の研究では現代社会に存在する多くの介護問題の中から、3つに焦点を当てている。今回、取り上げるテーマは、①近年、増加傾向にある「老老介護」問題、「認認介護」問題、②介護予防政策の既存システムの見直し・新システムの考案、③定年退職後の生きがい・職業とは何か、の3つである。今後の活動計画としては、上記の3つのテーマの現状を把握・分析し、日本だけでなく、他国で実施されている介護制度の調査と、日本の介護制度との比較を加えながら、将来、高齢者が安心して過ごしやすい環境づくりのための打開策を議論したいと考えている。

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

中央大学

佐藤拓也ゼミ

年金パート

1 3

部門番号

部門名

社会保障論

テーマ

年金制度について

サブテーマ

社会保障としての年金制度の問題点とは

趣意文

20歳を迎え年金を払う年になったが、大半の大学生は年金制度についての認知、理解が不足し、また知識が乏しいのが現状と言える。

我々はまず年金制度の仕組みについて調べ、年金だけで生活できるのか、即ち国民の最低賃金が年金によって果たして保障されているのか、年金積立金の行方などに問題意識を置いた。その上で社会保障の一部としての年金制度の在り方や役割、年金と国民・政府・社会の関係がどうなっているのかを研究したい。

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

中央大学

林光洋ゼミ

福祉班パート

13

部門番号

部門名

社会保障論

テーマ 子どもの貧困

サブテーマ 子どもの権利条約

趣意文

私たちは、フィリピンの子どもに対するサービスが、子どもの参加する権利をどの程度守ることができているかについてこの一年を通して研究しています。

子どもの権利条約は、子どもの基本的人権を国際的に保障するために定められた条約です。子どもの生存、発達、保護、参加といった包括的な権利を実現・確保するために必要となる具体的な事項を規定しています。1989年に国際連合総会において採択され、1990年に発効しました。私たちは、生きること、育つこと、守られることのみならず、参加することも、子どもの基本的人権として保障されていることに関心を持ちました。ここでは大人は、子どもの意見を聞き、それを尊重しながら、彼らにとって最善の利益は何かを見つけ出して行動することが求められています。しかし、現状は子どもの参加する権利を守ることが、形だけで終わってしまっている例が多いと感じています。これは日本国内でも同じです。我々はこの研究を通して、子どもの参画の重要性を再確認し、どのようにサービスが行われるべきかを考察します。

この研究の過程で今年の9月にはフィリピンにおいて2週間の現地調査を行い帰国後は、英語でグループ論文を書く予定です。

ぜひ我々と討論してみませんか？

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

國學院 大学 根岸 ゼミ B パート

13

部門番号

部門名 社会保障論

テーマ 財政から見た高齢者医療制度

サブテーマ 高齢者医療制度を維持するために取るべき選択

趣意文

現在、国民が医療機関に支払う医療費は年間で約 40 兆円であり、その医療費に占める 65 歳以上の高齢者の割合は半分以上となっています（厚生労働省 平成 26 年度国民医療費より）。今後、よりいっそう高齢者の数が増え、人口に占める割合が高くなることは明らかです。加えて、少子化が進むと、生産年齢人口が減少します。そうなれば、高齢者医療制度を維持することが困難になることは十分に予想されます。

そこで、私たちは、持続可能な社会保障を目指すために、高齢者医療制度について考えることにしました。日本と先進諸国の高齢者医療制度の特徴を確認し、それらを比較します。

世界的に手厚い社会保障が約束されている日本ですが、先進諸国と比較することで、まだ改善の余地があることを指摘したいと考えています。私たちは、人口構成を含めて、医療制度の維持・向上のための施策を議論します。